

スイーツのまちづくり

自治体情報 熊本県水俣市

人口 / 27,453人 標準財政規模 / 8,255百万円

担当課 産業建設部商工観光振興課
電話番号 直通 0966-61-1629
実施主体 スウィーツのまち水俣実行委員会
関連ホームページ <http://www.city.minamata.lg.jp/>

事業期間 平成19年度から

関係施策分類

予算関連データ

総事業費：1,702千円

名称	所管	金額(千円)
水俣・芦北地域振興財団助成金	熊本県(水俣・芦北振興財団)	944
水俣市まちづくり団体等支援補助金	水俣市	221
自主財源	実行委員会	537

施策のポイント

水俣市内で営業している和洋菓子店が協力して「スイーツのまちづくり」に取り組むことによって、人のつながりができ、地元食材の活用が進み、農商工観連携が図られた。また、商店街全体が今後のまちづくりを考えるきっかけになった。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

平成19年、水俣市役所の若手職員や有志による自主研究グループ「勝手にまちづくり委員会」が、新たなまちおこしを模索し、組織やジャンル等にとらわれることなく自由に地域活性化のアイデアを出し合う中で、水俣には多くの和洋菓子店があることに気づいた。早速市内の菓子店等の経営者に集ってもらい、「水俣市のお菓子をみんなでPRしましょう」と呼びかけた。その後、「スイーツのまち水俣実行委員会」として会合を重ねるうちに、これまでなかったお店同士の交流も始まるなかで、それぞれの店を調べる「お店のあるものさがし」を行った。高校生も参加して、各店舗への聞き取りや写真撮影を行い、絵地図として仕上げた。経営者達は絵地図を眺め、自分の店のことを再認識することになった。

2. 取組の具体的内容

和洋菓子店の連携により、毎年秋のスタンプラリー開催を中心に、新商品の開発・研究に取り組むようになった。具体的には次のようなイベントである。

- ・甘かもん天国みなまたスイーツスタンプラリーの開催(平成19年度～)
- ・エコパーク水俣バラ園でのオープンカフェ(創作スイーツの提供)の開催
- ・菓子博の開催

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

スイーツスタンプラリーへの参加者は、各店舗での商品提供能力を考慮して300人程度とし、毎回テーマを決めて、各店舗でオリジナル商品を開発することになっている。

4. 現在までの実績・成果

- ・甘かもん天国みなまたスイーツスタンプラリー(平成19年度～、5回開催)
- ・オープンカフェ(エコパーク水俣バラ園)や菓子博の開催

「スイーツ」によって人がつながり、行き来が生まれ、地域がにぎわい、経済も活性化してきた。

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

これまで市外から仕入れていた食材の一部を、地元でとれる安心安全な、生産者の顔の見える食材に代えたり、地元の新しい食材を使って新商品開発に取り組んだ。

また、これまでライバルだった店同士をお互いが紹介しあうようになり、その結果、お客がまちを回遊するようになった。

6. 今後の課題と展開

今後も毎年スイーツのテーマを変えながら商品開発を行い、仲間同士のつながりを深めながら、商店街と一緒に地域活性化のイベントを継続していく。その他、県内外でも機会あるごとに宣伝活動を行い、観光客誘致のきっかけにしていく。